

臨床研究に関する情報公開について

西暦 2016 年 4 月 20 日 Ver. 1

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報をまとめることによって行います。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんおひとりずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。

利用する情報からは、お名前、ご住所など、個人が特定できる情報は削除します。また、研究の成果は学会や雑誌等で発表されますが、その際にも個人が特定できる情報は公表しません。

ご自身の診療情報を研究に使用してほしくないという場合や研究に関するお問合せなどがある場合には、以下の「問合せ先」へご照会ください。研究への不参加を申し出られた場合にも、なんら不利益を受けることはありません。

研究課題名：	ダプトマイシンの使用状況調査と適正使用における薬剤師の関わり
実施診療科：	医療法人財団荻窪病院 薬剤科
研究期間：	倫理委員会承認以降～西暦 2016 年 5 月 10 日
研究目的と意義：	新規抗 MRSA 薬で 2011 年に発売されたダプトマイシン（商品名：キュビシン静注用 350mg）の使用状況を解析し、「MRSA 感染症の治療ガイドライン」との整合性や当院における抗 MRSA 薬としての位置付けを確認することで、今後の処方提案や治療介入に活かす目的があります。また薬剤師による処方監査状況も解析することで、処方チェック機能を更に向上させ、安心な医療の提供につなげたいと考えます。
研究内容：	<p>●対象となる患者さん</p> <p>2011 年 10 月 1 日から 2016 年 3 月 31 日までの期間中に、ダプトマイシン（商品名：キュビシン静注用 350mg）を使用された患者さん。</p> <p>●利用する情報</p> <p>ダプトマイシン使用時の年齢、性別、診療科、体重、ダプトマイシン使用日数、使用目的・診断名（使用時に提出された抗菌薬使用届出書の使用目的を含む）、使用時の計算上の CCr 値、ダプトマイシン使用前後に使用した抗生剤の名称と変更理由、ダプトマイシン使用前と使用中又は終了後初回の細菌培養結果（採取日、対象検体、検出菌）、ダプトマイシン使用直前と使用終了後初回の臨床検査値（CRP、白血球数、体温、ダプトマイシン使用中の CPK 値）薬剤科カルテ、抗菌薬使用届出書、抗菌薬長期使用届出書</p> <p>●研究方法</p> <p>患者さんのカルテより個人を特定できる情報を削除した上で上記の情報を抽出し、ダプトマイシンの有効率や使用方法においてガイドライン遵守率等を算出します。本研究において新たに情報を収集する予定はありません。</p>
問合せ先：	【研究責任者】 医療法人財団荻窪病院 薬剤科 薬剤師 松島 菜々 住 所：〒167-0035 東京都杉並区今川 3-1-24 電 話：03-3399-1101 (代表) 受付時間：月～金 8：30～17：00（土・日・祝・祭日を除く）

医療法人財団荻窪病院病院長